

# ふるさと納税で 観光振興は？

町長

## 提案を前向きに検討する

加藤 紀之 議員



閑散とする大山寺参道

【加藤】先ごろ販売された鳥取県のプレミアム宿泊券は、たいへんな人気で完売した。都会に住む人にとって鳥取県は魅力的な地域となっているようだ。

大山は開山1300年を控え、大山ツーリズムの商品化にも取り組んでおり、本町の観光振興は今を逃せば後がない、とも言えるほどの機会を迎えている。そこで、ふるさと納税のお礼の品として、本町の宿泊施設で利用可能な「ふるさと旅行

券」を考えてみてはどうか。

納税者にとっては、ふるさと納税のメリットに加え、大山への旅行、そこでの思い出など、多くのメリットとなり、本町としては地域経済の活性化につながると思うが、どう考えるか。

【町長】観光振興にとって、またとない機会での提案と考える。

大山ツアーデスクと連携し、受け入れ業者との調整を図りながら、実施を検討する。

# 認知症対策に どう取り組む？

町長

## 地域での支え合いが大切だ

遠藤 幸子 議員

【遠藤】第6期介護保険計画が策定されたが、どう推進するのか。

【町長】平成37年には団塊の世代が75歳以上になる。住み慣れた地域で暮らし続けるための生活支援を、一体的に提供する地域ケアシステムの構築が必要である。よりいっそう、地域づくりの取り組みが重要だ。

【遠藤】認知症サポーター養成講座を修了した人どう連携していくのか。

【町長】サポーター講座



認知症サポーターの目印 オレンジリング

は、認知症に対する正しい知識を深め、認知症の人や家族の応援者になるような養成を目的とする講座である。

今後、講座を修了したサポーターの協力を得て、地域でのネットワークづくりなど、支援事業を計画・検討したい。

認知症について多くの人が関心を持ち、正しい知識を得る。そんな取り組みが、住みよい・安心して暮らせるまちづくりにもつながると考える。